



福集協発第 3362 号
平成 28 年 3 月 24 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

第 33 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナーについて
(御案内)

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、今般、糖尿病 Up・Date 賢島セミナー準備委員会（事務局：中部ろうさい病院）より、標記セミナーを平成 28 年 8 月 27 日（土）・28 日（日）の 2 日間の日程で志摩観光ホテルクラシック（三重県志摩市）において開催する旨別添のとおり広報依頼が参りました。

つきましては、貴会におかれましても本件にご了知いただくとともに、貴会会員へ周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

学術担当理事 権藤秀之
会長 廣瀬真恵

平成 28 年 3 月吉日

松田 峻一良 殿

(申請者)

事務局：名古屋市港区港明 1 丁目 10 番 6 号

中部ろうさい病院

団体名：糖尿病 Up・Date 賢島セミナー

準備委員会

代表者：堀田 饒



第 3 3 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー 広報依頼書

このたび 第 3 3 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー準備委員会では、32 年にわたる当セミナーが好評につき、引き続き第 3 3 回セミナーを平成 28 年 8 月 27、28 日の両日、本準備委員会の主催、並びに日本糖尿病学会、日本医師会、愛知・三重・岐阜の各医師会の後援により別紙の要領にて開催することになりました。

つきましては、貴医師会の広報機関を通じて、当セミナー開催に関する広報をお願い致したく存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。



第33回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー

糖尿病の我が国における患者数は、2013年の時点で950万人で予備軍を入れると約2,050万人とも言われております。今や国民病の感となりました糖尿病の恐ろしさは、糖尿病性合併症が患者に与える苦痛あるいは生命の短縮にあるといえます。この増加の一途を辿る糖尿病に、いかに対処するか、医師をはじめとした医療チームに課せられた責任は大きいものです。恐るべき本症への対応には、単に糖尿病専門家に任せるだけではなく、進歩の著しい知識を医療一般に関与する全ての人々が理解し治療の術を身に付けることが何よりも重要ではないかと考えます。

糖尿病 Up・Date 賢島セミナーを、32年間にわたって賢島（伊勢志摩国立公園）で開催致しましたところ、医療に携わる様々な分野から多数の方々に参加していただき、「最新の情報が分かりやすい解説で、日常に役立つ」と大好評を博し、今後も当セミナーを引き続いて定期的開催する運びとなりました。なお、昨年の32回は本年開催されます伊勢志摩サミットに向けての改修工事の為に名古屋が会場になりました。しかし、今年は元に戻して、賢島の志摩観光ホテルが会場となりますことを御承知おきいただければ幸いです。

新しいシリーズのテーマは、第31回より“糖尿病へのシームレス・ケア”とし、世話人一同糖尿病に関する知識が幅広い人々に普及するよう努めたいと念じております。第33回の今回は“病状・病態に応じたシームレスな管理・治療 ―病型と合併症併発に応じた適切な対応―”というタイトルで下記のように開催することになりました。糖尿病に興味をお持ちの方に多数参加していただけますよう、ここに御案内申し上げます。

代表世話人 堀田 饒

記

テ　　マ	“病状・病態に応じたシームレスな管理・治療 ―病型と合併症併発に応じた適切な対応―”
日　　時	平成28年8月27日（土）、28日（日）
会　　場	志摩観光ホテルクラシック 〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明 731
セミナー記録	セミナーの記録は一冊の本にまとめられ出版されます。
セミナー参加費	50,000 円。proceedings 代を含みます。（※宿泊費は含まれておりません。） また、8月27日の懇親会をかねた夕食、及び8月28日の昼食を事務局にてご用意させていただきます。
参加申し込み	官製ハガキに氏名、所属、住所、TEL を明記の上、中部ろうさい病院事務局までお申し込み下さい。（参加人数は100名にて締切らせて頂きます。）
宿泊申し込み	株式会社 阪急阪神ビジネストラベル 糖尿病 Up・Date セミナー係 〒450-8533 名古屋市中村区名駅 2-45-14 日石名駅ビル 5F TEL: 052-563-0031 FAX: 052-563-0039 TEL または同封の FAX 用紙にてお申し込み下さい。 （満室になり次第締め切らせて頂きます。）
世　話　人	堀田 饒 （中部労災病院） 清野 裕 （関西電力病院） 門脇 孝 （東京大学） 羽田 勝計 （旭川医科大学） 中村 二郎 （愛知医科大学）
後　援 事　務　局	日本糖尿病学会、日本医師会、愛知県医師会、岐阜県医師会、三重県医師会 中部労災病院 堀田 饒 〒455-8530 名古屋市港区港明 1-10-6 TEL: 052-652-5511（内線 7174） FAX: 052-652-5623

第33回 糖尿病 Up・Date 賢島セミナー プログラム
“病状・病態に応じたシームレスな管理・治療”
—病型と合併症併発に応じた適切な対応—

第1日目 (8月27日)

14:00~14:10 開会の辞

14:10~16:30 セミナーⅠ：病態に応じたインスリンによる治療

司 会：南條 輝志男 (和歌山ろうさい病院)

14:10~14:40 講 演：病型診断とインスリン製剤そしてそれを用いた治療の進歩
加来 浩平 (川崎医科大学)

14:40~14:50 発 言：1. インスリン治療からみた1型糖尿病の病態とは
荒木 栄一 (熊本大学)

14:50~15:00 2. 2型糖尿病への効果的なインスリン治療とは
谷澤 幸生 (山口大学)

15:00~15:10 3. シックデイと低血糖からみた糖尿病とそれへの対応とは
内潟 安子 (東京女子医科大学)

15:10~15:20 Coffee Break

15:20~16:30 総合討論

16:30~17:00 症例検討のセミナー：困った症例

司 会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)

症例呈示：草間 実 (中部ろうさい病院)

コメンテーター：稲垣 暢也 (京都大学)

：中村 二郎 (愛知医科大学)

17:00~17:20 休憩

17:20~19:20 会食・懇親会

司 会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)

ディナースピーチ：＜糖尿病病理学の進歩—ランゲルハンス島への旅路より—＞
八木橋 操六 (弘前大学)

19:20~19:40 休憩

19:40~22:00 セミナーⅡ：病態に応じた経口血糖降下剤による治療

司 会：清野 裕 (関西電力病院)

19:40~20:10 講 演：2型糖尿病の病態と経口血糖降下剤そしてそれを用いた治療の進歩
門脇 孝 (東京大学)

20:10~20:20 発 言：1. インクレチン関連薬に期待される効果と問題点
古家 大祐 (金沢医科大学)

20 : 20～20 : 30	2. SGLT2 阻害薬に期待される効果と問題点 稲垣 暢也 (京都大学)
20 : 30～20 : 40	3. 糖尿病にみられる NAFLD/NASH とそれへの対応 植木 浩二郎 (東京大学)
20 : 40～20 : 50	Coffee Break
20 : 50～22 : 00	総合討論
22 : 00～22 : 10	休憩
22 : 10～23 : 40	懇親会

第2日目 (8月28日)

8 : 20～ 8 : 50	トピックス : 腸内環境の制御による疾患予防・治療基盤技術の創出 司 会 : 河村 孝彦 (中部ろうさい病院) 講 演 : 福田 真嗣 (慶應義塾大学)
8 : 50～11 : 10	セミナーⅢ : 病態に応じた糖尿病性合併症への対応 司 会 : 中村 二郎 (愛知医科大学) 講 演 : 糖尿病性合併症の発症メカニズムと対応 ―腎症を中心として― 羽田 勝計 (旭川医科大学)
8 : 50～ 9 : 20	発 言 : 1. 糖尿病性神経障害の実態と対応のアップデート 佐々木 秀行 (和歌山県立医科大学)
9 : 20～ 9 : 30	2. 糖尿病性網膜症の実態と対応のアップデート 堀口 正之 (藤田保健衛生大学)
9 : 30～ 9 : 40	3. 糖尿病にみられる認知症の実態と対応のアップデート 梅垣 宏行 (名古屋大学)
9 : 40～ 9 : 50	
9 : 50～10 : 00	Coffee Break
10 : 00～11 : 00	総合討論
11 : 10～11 : 50	鼎談 : 国際比較で捉えた糖尿病治療ガイドおよび糖尿病治療薬の選択 清野 裕 (関西電力病院) 門脇 孝 (東京大学) 羽田 勝計 (旭川医科大学)
11 : 50～12 : 00	閉会の辞
12 : 00～13 : 00	昼食